

令和５年度 新発田市・胎内市・聖籠町定住自立圏共生ビジョン懇談会 会議概要

１ 日 時：令和６年１月２９日（月）午前１０時３０分から午前１１時３０分まで

２ 会 場：新発田市役所「ヨリネスしばた」５階 会議室 501・502

３ 出席者：高澤副会長、佐藤委員、平川委員、川上委員

【事務局】

新発田市みらい創造課：樋口課長、鳥海課長補佐、澁谷課長補佐、齋藤係長、
渡邊主任、宮崎主事

胎内市総合政策課：石山参事、三浦主任

聖籠町総合政策課：小林課長補佐、横山主事

４ 会議概要 ※次第に沿って進行 司会進行：事務局

○開会

※事務局から委員紹介（書面）、欠席委員の連絡、資料確認

○あいさつ

【事務局】

本懇談会は、圏域が抱えている人口減少という課題に対して、３市町が連携して、圏域のさらなる発展や住民の生活機能の向上を図るために、行政だけでなく住民や民間の方々も含めてどのように取組を行っていくべきか検討を行うこととしている。本日の議事は①連携事業の進捗状況、②定住自立圏共生ビジョン別冊の改定、③婚活支援事業の事例紹介についてである。

○議事

「（１）連携事業の進捗状況等について」

【副会長】

現在、圏域で実施している事業の進捗状況について、事務局に説明をお願いしたい。

【事務局】

※資料１、２に基づいて説明

【副会長】

ご意見やご質問がありましたらお願いしたい。

《公共交通連携事業について》

【委員】

胎内市民で新発田に行きたいという方がいる。胎内市には（予約制のりあい自動車の）

のれんす号があるので、ぜひ3市町で連携をとって事業を進めていただきたい。胎内市民が新発田病院に行きたい場合、のれんす号で中条駅まで行き、電車で新発田駅に行くが、新発田駅から新発田病院の中まで行くには距離があるが、たしか新発田市のコミュニティバスはそこまで行かなかったと記憶している。また、タクシーを使うには料金が高い。そのあたりも含めて、3市町で公共交通の連携を検討していただきたい。

《シェアオフィス設置及び運営事業について》

【委員】

令和6年度は新たな入居予定の話などはあるか。また、空き家対策として、新発田市がシェアオフィスにふさわしい建物を取得・メンテナンスを行い、本庁地区周辺にシェアオフィスをつくっていけば地域活性化につながるのではないかと。月岡は少し遠いという声もある。

【事務局】

入居企業については、資料2に記載のとおり、もう1社入りそうだとするところまで担当課から聞いているが、それ以上の情報は今のところない。残りの部屋についても引き続き積極的に展開していく。令和6年度の計画として、本田小学校の跡地についても同様の取組を計画している。議決を経て決定していくものになるが、次回の会議で報告できると思う。

「(2) 共生ビジョン別冊の改定について」

【副会長】

共生ビジョンの改定を予定している事項について、事務局に説明をお願いしたい。

【事務局】

※資料3に基づいて説明

【副会長】

ご意見やご質問がありましたらお願いしたい。

《「移住促進事業」について》

【委員】

成果指標は事業参加者数ではなく移住者数とすべきではないか。

【事務局】

当初は移住先としてのPRをする場であるセミナーを胎内市と合同で開催し、その参加者数を成果指標として設定していた。今後、家賃や交通費の補助を新たに実施していくにあたってこの成果指標が適切か考えたが、5年間のビジョンの期間を通じて実績をはかるため、同じ指標とさせていただいた。

【委員】

事業の最終目標は移住定住してもらうことだと思うので、成果指標が移住者数や定住者数となることを願っている。

【委員】

各地域に地域おこし協力隊の方に来てもらい、様々な活動をしてもらい非常にありがたい。3年間の活動の後、定住していただけるような土壌づくりも大切だと感じる。

【副会長】

移住に関してメディアに取り上げてもらうと認知度が高まると思う。また、図書館委員を務める中で、高齢の一人暮らしの方が亡くなると古文書が捨てられてしまう可能性があるという話がある。そういった古文書などを集めやすいシステムづくりなどに協力隊も入り込んでもらうというのも1つの方法ではないか。

「(3) 連携事業の事例紹介について」

【副会長】

事例紹介について、事務局に説明をお願いしたい。

【事務局】

※資料4に基づいて説明

【委員】

ライフデザインセミナーというものを初めて知り、興味を持った。婚活イベントに対して恥じらいがある人もいると思うので、このセミナーをもっとPRするとよいと感じた。

【委員】

婚活イベントでカップル数が令和5年度12組できたが、結婚祝い品の贈呈件数がゼロということは結婚までいかなかったということか。

【事務局】

婚活イベントでカップルになって、成婚報告をいただくまで2~3年かかる。資料でいうと令和3年に2組お祝い品を贈呈しているが、このカップルは令和元年度のイベントでのカップルとなる。昨年も今年もそれなりにカップルができたが、その報告をいただくのはさらに2年後ぐらいと考えている。今年も去年もお祝い品の贈呈がないというのは、コロナ禍で婚活イベント自体開催できない、または小規模であったことも影響していると考えている。

【委員】

カップル率が高いので、継続することで実績が積み重なっていくと思う。女性の参加者数が少ないという課題に対して、今後も工夫をしていただきたい。

【委員】

イベント等は広報にその都度掲載しているのか。また、結婚式の費用を負担するなど、少し思い切ったことをしてはどうか。

【事務局】

広報については申し込みをしていただく都合もあるので、開催の約1か月前に毎回3市町の広報紙に掲載している。

結婚式自体の費用負担について、資料の2ページ右側に定住自立圏の枠外に記載している結婚新生活支援事業は、国が行っている新婚世帯に対する補助となっている。当圏域では令和3年度から足並みをそろえて実施しており、県内でも取り組む市町村が増えている。所得制限のある事業で、夫婦2人で所得500万円以下の世帯に支援を行っている。結婚式自体への補助ではないが、家賃などの新居にかかる費用や、引っ越し費用など、新婚生活に伴う一時的な経費に対して補助を行っている。

【副会長】

ライフデザインセミナーについて、早いかもしれないが、学校教育の中にも取り入れて、高校生など早いうちから就職や定住なども含めて将来設計を考えられるといいのではないか。

【委員】

このライフデザインセミナーは依頼すれば中学校にも来てもらえるのか。

【事務局】

定住自立圏ではないが、新発田市単独で中学生に対してライフデザインセミナーを令和3年度から試験的に行い、今年で市内全中学校を一巡したところである。職業体験などを終え、高校進学についても考え始める中学2年生の秋に行っている。学校側も忙しいが、子どもたちの視野が広がるなど、よい反応をいただいている。中学1年生にも行ったことがあるが、まだ少し早いと感じた。内容的には高校生もいいと思うが、学校のカリキュラムが忙しく、スケジュールをとるのが難しい。これは現在、内閣府が推し進めている事業で、新潟市では大学生や若手社会人向けに行っているなど、広がりを見せている。学校で取り組んでほしいというのはおっしゃる通りである。

「その他」

【副会長】

最後になるが、何か意見や質問等はあるか。

《男女共同参画推進事業について》

【委員】

自治会町内会の役員のなり手がなく、現在 330 の自治会町内会があるが女性の町内会長は 2～3 人しかいない。成果指標に各審議会の女性委員の割合とあるが、町内会においても女性を登用することで地域全体が盛り上がっていくのではないかと思う。男女共同参画については、自治会としても年 2～3 回講演会や勉強会などを計画している。資料 2 に令和 6 年度事業予定が記載されているが、年 1 回の講演会だけではなく、繰り返し地域行政や地域全体で推進していけるとよい。

【副会長】

その他、意見や質問等はあるか。

※特になし

【副会長】

以上をもちまして、議事を終了する。

※議事終了

○閉会

【事務局】

委員の皆様には専門的な知見等からご意見をいただきましてありがとうございます。先ほど話に合ったシェアオフィスについては、西新発田駅あたりの民間の施設があったと思うが、委員から市街地にという話もあったので可能性について検討していきたい。他にも委員の皆様方からいただいた貴重な意見は、事業を担当する部署に伝え次年度以降の取組の参考とさせていただきたい。また、委員の皆様はこの 3 月末をもって任期満了となる。残り 2 ヶ月を残すところだが、これまで当事業にご協力をいただいたことに感謝を申し上げる。

○懇談会終了